

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

皆さま方には、日頃より、長野銀行をお引き立ていただくとともに、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。当行では、当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2021年9月期の業績、経営内容をできるだけわかりやすくご紹介するため、ここにディスクロージャー誌を作成いたしました。お気軽にご利用いただき、ご参考にさせていただければ幸いに存じます。

当行は、2019年4月よりスタートした第11次中期経営計画で掲げた「不断の改革と更なる進化」のスローガンのもと、お客さま本位を第一とした業務運営とお客さまの課題解決を行うため、①考働改革、②業務運営改革、③人財の育成とダイバーシティの推進、④リスク・リターンコントロールの進化を重点施策として、中小企業と個人に寄り添う「長野県のマザーバンク」の実現に向け、役職員一丸となって業容の拡充と経営の一層の効率化に努めてまいりました。

当行を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化による営業基盤の縮小に加え、低金利政策の継続による収益環境の悪化や異業種参入による競争環境の激化、さらに、感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による景気の下振れリスクの高まりなど、厳しい状況が続いております。

これらの経営環境を克服するため、中期経営計画のもと、グループ一体となったコンサルティング営業の徹底により長野県経済の活性化に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月

代表取締役頭取 **西澤 仁志**

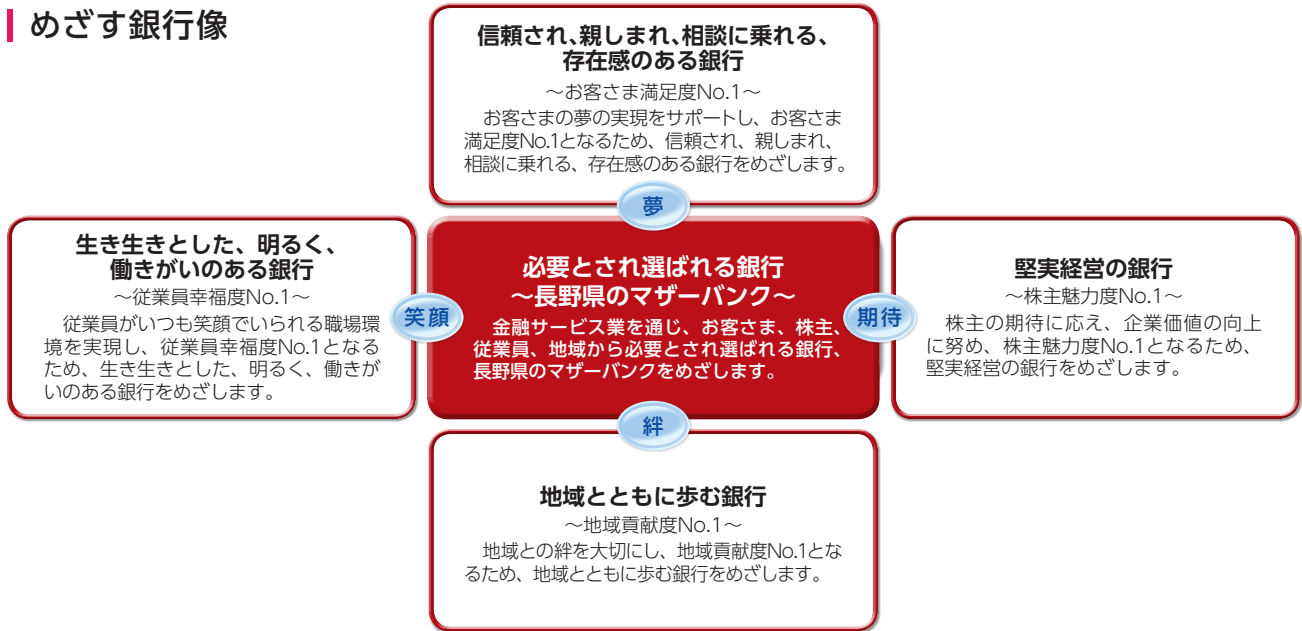


長野銀行がめざすもの

長野銀行がめざすもの

経営理念 当行は、お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします。

めざす銀行像



第11次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）

めざす銀行像
必要とされ選ばれる銀行 ～長野県のマザーバンク～

盤石な経営基盤の確立

第11次中期経営計画

不断の改革と更なる進化

～中小企業と個人に寄り添う「長野県のマザーバンク」～

4つの基本方針

- 1 お客さまをよく知り、お客さまの課題解決に向けた取組みの強化
- 2 お客さま本位を第一とした業務運営による金融サービスの提供
- 3 営業店権限の拡充と本部サポート機能の充実による現場力の強化
- 4 経営資源の再配分による収益力の強化

4つの重点施策

考働改革

業務運営改革

人財の育成
ダイバーシティ推進

リスク・リターン
コントロール進化

取引基盤の拡充

主要計数目標

	創業・第二創業 支援先数	事業承継・M&A 支援先数	事業性融資残高	個人ローン残高	当期純利益	自己資本比率
目標	400 先	600 先	3,000 億円	2,200 億円	10 億円	10%程度
進捗	591 先	655 先	3,290 億円	2,151 億円	8.3 億円 (中間純利益)	9.58%

(2021年9月30日現在)

NAGANO BANK DISCLOSURE 2021